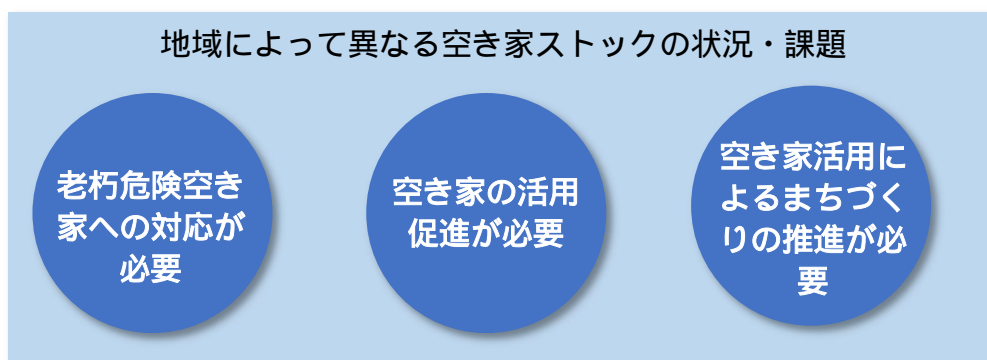


基本目標

地域の状況に応じた空き家対策の推進

空き家ストックが増加することにより、「老朽危険空き家の保安上、衛生上、景観上の問題へどのように対応するか」「空き家の活用をどのように進めるか」さらに「空き家活用によるまちづくりをどのように進めるか」といった対策を推進することが必要です。

すでに各市町や民間事業者による空き家対策、空き家活用が推進されている中で、各市町の空き家を取り巻く課題に応じて、老朽危険空き家への対策を適切に進めるとともに、活用できる空き家を各市町のまちづくりを推進するための資源として捉え、民間事業者等とも連携して総合的な空き家対策として推進するための仕組みを構築することとします。



民間事業者等とも連携した総合的な空き家対策を推進する仕組みを構築する

危険な空き家の除却・更新

管理不全空き家の発生予防（適正な維持管理・活用促進など）

活用促進に向けたコーディネート機能

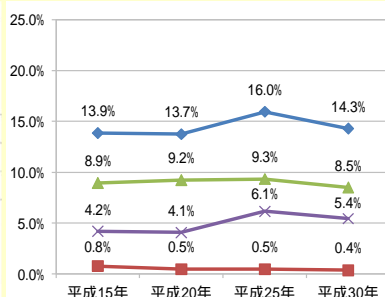
空き家活用による地域活性化の促進

地域ごとに異なる空家率の推移

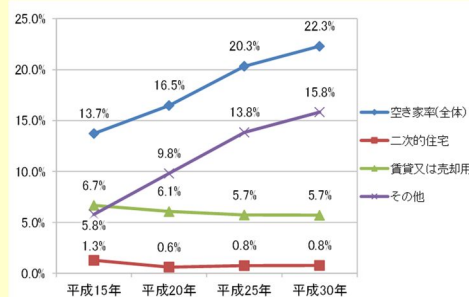
東予地域の空き家率の推移



中予地域の空き家率の推移



南予地域の空き家率の推移



資料：平成30年住宅・土地統計調査